

第1回理事会 議事録
一般社団法人 尾道青年会議所
2020年度 第1回理事会 議事録

日時：2020年 1月 9日（木）19：00～

場所：グリーンヒルホテル尾道

(出席者)

加度 亮平、山北 真也、川崎 耕平、今岡 正英、政成 啓行、大西 貴明、岡本 大輔、池田 知和、沼田 剛志、岡田 貴臣、小川 直紀、大本 誠、高橋 洋樹、大前 慶倫、高山 敦好、小林 暢玄、山本 圭介、岡田 健吾、高橋 建太、中司 昌克、藤田 祐輔、吉田 嵩正、大池 慎三

(オブザーバー)

原田智晴、村上直弘

(欠席者)

中谷 純也

(早退)

1. 開会
2. 点鐘
3. JCI クリード唱和 大本 誠
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 高橋 洋樹
5. JCI 宣言文朗読並びに綱領唱和 高山 敦好
6. 出席者の確認：藤田理事・セクレタリーより
理事 20名 直前理事長 1名 監事 1名 セクレタリー 1名 オブザーバー 2名
7. 配布資料の確認：高橋専務理事より
第1回理事会資料はメールにて配信
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名：加度理事長より
議事録署名人：川崎監事
議事録作成：事務局
9. 議題の確認：高橋専務理事より

(審議事項)

- 第 1号議案 活気溢れる組織作り事業の調査・研究・実践 事業報告(案) 決算(案)に関する件
- 第 2号議案 クリスマス会 事業報告(案) 決算(案)に関する件
- 第 3号議案 あるべき姿探求事業の調査・研究・実践 事業報告(案) 決算(案)に関する件
- 第 4号議案 卒業例会 事業報告(案) 決算(案)に関する件
- 第 5号議案 活動記録の整理・保存及び広報活動の実践【情報通信技術(ICT)を活用】
事業報告(案) 決算(案)に関する件

第1回理事会 議事録

- 第 6号議案 活動記録の整理・保存及び広報活動の実践【JCライフの発行】事業報告（案）
決算（案）に関する件
- 第 7号議案 2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 理事長の選定（案）に関する件
- 第 8号議案 2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 委員会構成図（案）に関する件
- 第 9号議案 2020年度 理事予定者会議における審議上程事項の追認（案）に関する件
- 第10号議案 会員拡大の調査・研究・実践 事業計画（案）予算（案）に関する件
- 第11号議案 その他は案件がないことを確認し、削除

（協議事項）

- 第 1号議案 例会・総会の設営及び運営【定時総会】事業計画（案）について
- 第 2号議案 2月例会 事業計画（案）予算（案）について
- 第 3号議案 その他は案件がないことを確認し、削除

以上の結果、上記12議案にて本会を進行する事とした。

10. 理事長挨拶

（加度 亮平）

皆さん、あけましておめでとうございます。さて、長いお正月休みも終わり、私達も予定者という肩書もなくなり、いよいよ2020年度もスタートとなりました。改めまして、今年もどうぞよろしくお願いいたします。早速ですが、本日は上程の仕方について話をさせていただきます。前回の理事予定者会議でもお伝えしたかと思いますが、本年度より上程の際の議案文の朗読は割愛するようになっていきたいと思います。議案の内容は事前配信していますので、全員把握している事を前提にして、文章だけでは伝わりにくい所を説明してほしいです。考えに考え抜いた議案ですから、言いたいことはたくさんあると思いますが3分ぐらいで説明してくれた方が後日委員会に報告する際も端的な説明がメンバーにも出来ると思います。まとめる作業が増えるかもしれませんが、日本青年会議所本会も会議のスマート化を提唱していますので、私達も効率化していく必要があると思います。その代わりに、議案文の朗読を無くしてできた浮いた時間は是非とも委員会報告に時間を使いたいと思います。今回上げる議案だけでなく、すべての事業の進捗や計画段階の内容など、各委員会が何をしようとしているのかを事前に知っておく方が何かと良いと思います。昨年末より、正副理事長会議ではこの手法を取り入れています。副理事長も正副で報告しないといけないから、委員長と事業の進捗の話をしづらくなる状況を作っているつもりです。仕方なくでもいいので、ちゃんと状況が把握できていると、上がってきてビックリ、ゼロベースの差し戻し、という最悪な状況は避けられると思います。是非ともご協力をお願いします。

それでは、2020年度第一回目の理事会が実りのある会になることを祈念して、冒頭の理事長あいさつに変えさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

11. 直前理事長挨拶

（山北 真也）

皆さん、あけましておめでとうございます。まずは、昨年2019年度大変お世話になりました。無事12月31日をもって任期を終えることが出来ました。あらためて感謝を申し上げます。先程、加度理事長がおっしゃられたこと、私もいい事だと思います。今年は日本青年会議所が組織改革を政策として掲げておられますので、そういったスリム化も大事だと思いますので、どんどん変えていくべきところは変えていくべきだと思います。ただ理事長のお話を聞いて思ったことは、今加度理事長がおっしゃっていることを実行するにあたっ

第1回理事会 議事録

て、まず委員長、副委員長の皆様は、理事会までにすべての議案に目を通して頂いて、何を聞かなければならないか、それをわかった上でやっていかないと、端的な説明だけでは、質問ができないと思いますので、その点はしっかりして頂きたいと思います。また、副理事長、委員長、副委員長3人が同じ共有した情報をもった上で、正副も含め理事会に臨んでいただきたいと思います。そういった事前準備をした上で、この方法を取り入れるとよりスムーズにいくのではないかと思います。2020年度が色々変えながら、素晴らしい1年となる事を祈念致しまして、直前理事長挨拶とさせていただきます。

12. 理事長報告

資料にて確認

13. 委員会報告

資料にて確認

14. 審議事項

第1号議案 活気溢れる組織作り事業の調査・研究・実践 事業報告(案) 決算(案)に関する件

(加 度) 2019年度担当委員長 池田知和君よろしくお願い致します。

(池 田) ※資料参照

(加 度) この件に関してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

(小 川) 収支計算明細でお米ネットについての差異の説明をお願い致します。

(池 田) お金を洗わずにお米が沢山炊けると情報を得まして、購入させて頂くことにしました。

※第1号議案 全会一致で承認可決

第2号議案 クリスマス会 事業報告(案) 決算(案)に関する件

(加 度) 2019年度担当委員長 池田知和君よろしくお願い致します。

(池 田) ※資料参照

(加 度) この件に関してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

(小 林) 実施上の問題点で、出欠の幹事取りまとめの返信にしたほうがいいのではないかという点についてですが、お子様のアレルギー等の情報のミスも起こる可能性もありますので、次年度の担当委員会と協議して引継ぎをして頂ければと思います。

※第2号議案 全会一致で承認可決

第3号議案 あるべき姿探求事業の調査・研究・実践 事業報告(案) 決算(案)に関する件

(加 度) 2019年度担当委員長 原田智晴君よろしくお願い致します。

(原 田) ※資料参照

(加 度) この件に関してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

(小 林) 委員会動画のクオリティの件で、作成過程においてなぜその動画を採用したのか、またその改善点を説明して頂きたいと思います。

(原 田) できるだけ楽しい動画をテーマに動画を作成しました。講師の方とも協議した上で動画は決定しております。もっと委員会の中で意見を抽出する機会を作れば、動画のクオリティを上げられたのではな

第1回理事会 議事録

いかと考えております。

(小 林) 動画は講師の方と確認されていたか。

(原 田) 講師の方と協議しております。

※第3号議案 全会一致で承認可決

第 4号議案 卒業例会 事業報告(案) 決算(案)に関する件

(加 度) 2019年度担当委員長 岡田貴臣君よろしくお願い致します。

(岡田貴) ※資料参照

(加 度) この件に関してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

※第4号議案 全会一致で承認可決

第 5号議案 活動記録の整理・保存及び広報活動の実践【情報通信技術(ICT)を活用】事業報告(案)
決算(案)に関する件

(加 度) 2019年度担当委員長 岡田貴臣君よろしくお願い致します。

(岡田貴) ※資料参照

(加 度) この件に関してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

(岡田健) HPの更新の記事の内容ですが、FACEBOOKに関してはスピード感が大事だと思います。総務委員長の権限で記事を挙げていたのか、又は承認をとっていたのか教えていただきたいと思います。

(岡田貴) 通常協議、審議の段階で各委員長に顔写真を載せていいか等の確認しております。また講師の方がいらっしゃる場合は講師の方にも、担当委員長から確認させていただきました。中身については総務広報委員会で記事を吟味して、HPの更新の記事の内容ですが、FACEBOOKに挙げた後で、各委員長に内容を確認し、変更がある場合は記事の変更をさせていただきました。

※第5号議案 全会一致で承認可決

第 6号議案 活動記録の整理・保存及び広報活動の実践【JCライフの発行】事業報告(案)
決算(案)に関する件

(加 度) 2019年度担当委員長 岡田貴臣君よろしくお願い致します。

(岡田貴) ※資料参照

(加 度) この件に関してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

※第6号議案 全会一致で承認可決

第 7号議案 2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 理事長の選定(案)に関する件

(加 度) 高橋専務理事よろしくお願い致します。

(高橋建) ※資料参照

第1回理事会 議事録

(加 度) この件に関して何かご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

※第7号議案 全会一致で承認可決

第 8号議案 2020年度 一般社団法人尾道青年会議所 委員会構成図(案)に関する件

(加 度) 高橋専務理事よろしくお願い致します。

(高橋建) ※資料参照

(加 度) この件に関して何かご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

※第8号議案 全会一致で承認可決

第 9号議案 2020年度 理事予定者会議における審議上程事項の追認(案)に関する件

(加 度) 高橋専務理事よろしくお願い致します。

(高橋建) ※資料参照

(加 度) この件に関して何かご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

※第9号議案 全会一致で承認可決

第10号議案 会員拡大の調査・研究・実践 事業計画(案) 予算(案)に関する件

(加 度) 政成副理事長よろしくお願い致します。

(政 成) 高橋委員長よろしくお願い致します。

(高橋洋) ※資料参照

(加 度) 政成副理事長補足は御座いますか。

(政 成) 特に御座いません。

(加 度) この件に関して何かご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

(小 林) 拡大会議についてですが、盛りだくさんの事業となっておりますので、事業の取りまとめが大変です。委員会メンバーを頼って役割を振って頂ければと思います。

(高 山) 拡大目標宣言についてですが、毎月合同委員会にて配布とありますが、毎回新しい用紙に記入しているのでしょうか。

(高橋洋) 拡大目標宣言の記入に関しては、2月の合同委員会に配布して記入して頂きます。その際に、欠席の方もいらっしゃると思いますので一度回収します。また次の拡大会議の際に配布します。

(池 田) フロアメンバーへの拡大活動参加へのアドバイスを頂ければと思います。

(高橋洋) 現状の尾道青年会議所の状況を把握して頂いて危機感を持って頂くことも大切と考えております。拡大プログラムにおいての設えでは、電話1本でも点数が入る設えとなっております。点数の低い委員会には夏期講習の設えなども用意しておりますので、参考にして頂ければと思います。

(小 林) 2019年度情報ですが、前年度担当委員長の私が作成しております。中には表に出せない内容も書いていますので、精査して頂ければと思います。

第1回理事会 議事録

※第10号議案 全会一致で承認可決

15. 協議事項

第1号議案 例会・総会の設営及び運営【定時総会】事業計画（案）について

(加 度) 大西副理事長よろしくお願ひ致します。

(大 西) 山本委員長よろしくお願ひ致します。

(山 本) ※資料参照

(加 度) 大西副理事長補足は御座いますか。

(大 西) 特に御座いません。

(加 度) こちらの議案に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

※第1号議案を閉じる

第2号議案 2月例会 事業計画（案）予算（案）について

(加 度) 今岡副理事長よろしくお願ひ致します。

(今 岡) 岡本委員長よろしくお願ひ致します。

(岡 本) ※資料参照

(加 度) 今岡副理事長補足は御座いますか。

(今 岡) 特に御座いません。

(加 度) こちらの議案に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

(高 山) 働き方改革の切り口で、社員へのアプローチ方法、手法は含まれていますでしょうか。

(岡 本) 短い時間の中ですべての改革を説明していくことは難しいので、働き方改革の中で3点に選定して説明していきます。働き方改革の内容を勘違いするのではなく、なぜ必要なのかを学んでいただいて、社員に説明していく必要があると思います。働き方改革は、社員に対しての政策が主となっておりますので、経営者の我々が学ぶきっかけにさせていただきたいと思います。

(大 前) ホワイト企業診断に関して、パート・アルバイトがいない企業もあると思いますが。

(岡 本) 内容の変更を検討します。

(小 林) 社員の目線を大事にされていますが、社員への聞き取り等は実施されていますか。

(岡 本) 当初はメンバーの会社に各アンケートも考えておりましたが、経営者として、各社員に書きたいことをすべて書かれても困る場合も考えられますので、実施しておりません。

(小 林) 我々は経営者目線で話しますので、机上の空論になりかねない可能性があります。岡本委員長の中で会員の方に持って帰って頂きたいことを明確にパワーポイント等に反映してはどうか。

(岡 本) 初めの説明で漏れていましたが、経営者として重要なことは会社の存続であると考えております。働き方改革の例会を実施するにあたって、働き方改革を実施していないと会社の存続として、不利になる可能性があるという内容もパワーポイントの説明には取り入れております。会員の方に持って帰って頂きたいことを、より明確に内容に組み込んでまいります。

※第2号議案を閉じる

第1回理事会 議事録

16. 報告依頼事項

(高橋建) 本日は御座いません。

17. 連絡事項

(中 司) 新春会議の出欠締め切りが明日1月10日までとなっておりますので、各委員会でとりまとめの上、遅れないように提出をお願い致します。また、最近特会の使用がかなり多くなっております。特会は専務の許可が必要なので、使用される際は専務に連絡をお願いします。委員会単位での飲食等につきましては、その場でのお支払いをお願いします。2月合同委員会より服装の緩和が実施されますので、委員会メンバーへ周知をお願い致します。この後隣の部屋にて懇親会がございますので、遅れないようにお願い致します。本日は駐車券が3時間分出ますので、帰りにフロントに寄って各自受け取るようにして下さい。次回の上程締め切りは1月21日火曜日となっております。

18. 監事講評

(川 崎) 皆様、明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い致します。また加度理事長におかれましては、本日理事長選任の承認がとれまして、無事に2020年度尾道青年会議所がスタート出来ましたこと、誠におめでとうございます。2019年度の議案ですが、池田委員長、岡田委員長お疲れ様でした。まだ総会が残っていますので、2019年度の事務局の方々は大変かと思いますが、2月の総会までもう少し頑張って頂ければと思います。いよいよ皆様も年が明けて、予定者段階から理事となり、新年第1回目の理事会を行った中で、活発な意見が出てよかったと思います。最後の2月例会の協議上程の中で、もう少し議論があってもいいのではないかとという点と、質問、意見をする方は限られていると思います。皆様時間を割いて理事会に参加されていますので、一人一つくらいは、質問、意見をさせていただきたいと思います。今質問してウォーミングアップしておかないと、いざ自分が上程を挙げた際に、苦しい状態になる事も考えられますので、その点も意識して頂きたいと思います。議案についてですが、拡大についてですが、どうしても手法を工夫されますが、ビジネスの業界には、2:6:2の法則があります。何も言わないでもやってくれる人が2、なかなかやらない消極的な人が2、そして平均的な人が6となります。この6の部分の人を動かしていくための雰囲気作りが、拡大活動でも重要になってくるのではと考えております。そういった雰囲気を作るのも拡大のメンバーであり、また上層部や理事メンバーを動かす事が重要ではないかと思っておりますので、手法も大切ですが、雰囲気作りのほうもよろしく願いいたします。そして、2月例会ですが、働き方改革ということで、最低賃金が上昇、女性の活用、高齢者の活用、休日や雇用形態の変化等、皆様も悩まれていることが多々あると思います。その中で何かヒントを経て持って帰れるような例会にさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。一つだけ指摘しますと、鏡の目的の部分が長いと思います。目的はシンプルに何が伝えたいのか記載して頂きたいと思います。そして、今年の干支は鼠年とありますが、60年ぶりの庚子という年で御座います。庚子とは、新しい環境へ対応する体制を整える年と定義づけられています。そのためには残すべきものを見極めるべく、また今までのやり方やあり方に向き合うことが必要とあります。冒頭の理事長の上程のやり方を変えようという事もありますし、合同委員会の服装も変えようということもあります。また日本においても2020年は、東京オリンピックの開催であったり、それに基づいた経済や政治であったり、我々の取り巻く社会環境が大きく変わる年でもあります。尾道青年会議所でも、高山委員長が2020年代の活動指針を新たに策定されます。我々尾道青年会議所も次の何かを作り始める年となりますので、そんな2020

第1回理事会 議事録

年度の理事の皆様が、新しい波を作って頂くよう祈念致しまして監事講評とさせていただきます。本日もお疲れ様です。

19. 次回開催日の確認

(高橋建) 2月 6日(木) 19:00～ 尾道国際ホテル

20. 閉会

21. 点鐘

第1回理事会 議事録

議 長 加 度 亮 平 印

署名人 川 崎 耕 平 印

作成者 藤 田 祐 輔